

インドネシア人日本語学習者の終助詞「よ」の理解状況

—インドネシア教育大学の日本語学習者を対象に—

ウィケ ナディヤ スチ アリスティ

群馬大学日本語・交換留学生

教育学部

15184008

目次

1. はじめに
2. 研究の目的
3. 先行研究
4. 調査方法
 - 4.1 対象者
 - 4.2 調査内容
 - 4.3 分析方法
5. 調査結果の分析
 - 5.1 正答率が高い用法
 - 5.2 正答率が低い用法
6. まとめと今後の課題
 - 6.1 まとめ
 - 6.2 今後の課題

1. はじめに

文を発話することによって、話し手は聞き手に何らかの情報を伝えたり、情報の提供を求めたり、行為の実行を発命したり、行為の実行を求めたりする（仁田 2009）。

このように、話し手が発話によって聞き手に何らかのはたらきかけを行う際、日本語の特徴の一つとして、聞き手に対する話し手の配慮を反映した表現形式が顕著に認められる、という点がしばしば指摘される（益岡 1991）。そのような表現形式の一つとして、終助詞がある。また、終助詞「よ」には様々な用法がある。

日本語では終助詞をよく使っていて、いろいろな場面で使うことができる。インドネシア語の終助詞もたくさんあるが、日本語のように終助詞をあまり使わないと思う。

日本の漫画本 4 冊とそれがインドネシア語に翻訳出版されているものを資料とし、終助詞「よ」「ね」のインドネシア語への翻訳状況を調査した研究（アルタディ・長南 2014）によると、8 割以上の日本語の終助詞「よ」がインドネシア語では訳出されていないことを明らかにしている。

本研究は、日本語の終助詞「よ」に対応するインドネシア語の終助詞は複数であること、また、日本語で「よ」を用いる場合でも、インドネシア語では用いない場合が多くあることから、インドネシア人日本語学習者にとって終助詞「よ」の理解は難しいと推測した。

研究では、教科書分析を行い、そこで取られた結果と、インドネシア人日本語学習者の終助詞「よ」の理解状況の調査から考察を行う。

2. 研究の目的

本研究の目的は、インドネシア人日本語学習者の終助詞「よ」の理解における習得困難点を明らかにすることである。まず、インドネシア人日本語学習者の

「よ」の理解状況を文法性判断テストにより把握し、問題点を明らかにする。そして、その原因を、母語（インドネシア語）と言語習得環境の点から考察する。

3. 先行研究

3.1 日本語の先行研究

日本語の「よ」に関しては色々な研究があり、用法について説明されている。本研究では、この研究を参考にして、「よ」の用法を整理し、日本語の調査文を作成した。

ナラノーン（1998）から、終助詞「よ」の機能とアンケートを作成するときに参考とした。表1は、日本語の終助詞「よ」に対応するインドネシア語の終助詞を示す。

表1 日本語の終助詞「よ」に対応するインドネシア語の終助詞

「よ」の用法	対応する終助詞	日本語の例文	対応するインドネシア語の文
1. (情報) 新情報や聞き手が知るべき情報を伝える。	Lho: 新情報や聞き手が当然知っているべき情報を示す。	例1 A: めぐみちゃん、明日テストがあるよ。 B: 本当？知らなかった。	例2 A: Megumi, besok ada tes, <u>lho</u> . B: Yang bener? Aku ga tahu.
2. (意見・反論) 話し手の意見・感情・判断を伝える。(相手を励ましたり安心感を与えたりする。押し付けがましい反論。主張)	Kok: 相手に違う意見を与える。「反論」のニュアンスを表すために。 Lho: 意見・感情を与える。	例3 A: 私の作った料理は味が薄いね。 B: ううん、美味しかったよ。 例5 A: この映画は面白いよ。	例4 A: Masakan buatan saya rasanya kurang terasa, ya. B: Tidak, enak <u>kok</u> . 例6 A: Film ini seru, <u>lho</u> .
3. (命令) 命令を強める。	対応する助詞がない。	例7 母: まだテレビを見るの？早く寝なさいよ。	例8 Ibu: Masih nonton tv? Cepet tidur!

4. (注意) 注意する、働きかける ニュアンスを含む。	Lho: 注意する情態、 情報を伝える。	例 9 A: じゃ、私帰ります ね。 B: 帰るの? 外で雨が 降ってる <u>よ</u> 。	例 10 A: Saya pulang, ya. B: Mau pulang? Diluar hujan, <u>lho</u> .
5. (禁止) 禁止を強める。	Ya: 禁止を強める (音 調によって)。	例 11 娘: 飲み会に行ってい ます。 父: 外泊はするな <u>よ</u> 。	例 12 Anak: Pamit pergi ke pesta. Ayah: Jangan nginep diluar, <u>ya</u> .
6. (依頼) 依頼を強める。	Ya: 依頼を与える。相 手に念を押す。 Dong: 依頼を強める。	例 13 A: じゃ、頼む <u>よ</u> 。 例 15 女: 気になるから、教 えてください <u>よ</u> 。	例 14 A: Minta tolong bantuannya, <u>ya</u> . 例 16 Perempuan: Karena penasaran, kasih tahu <u>dong</u> .
7. (気軽な受け入 れ) 相手の依頼を気軽に受 け入れる。	対応する助詞がない。	例 17 A: 借りてもいい? B: いい <u>よ</u> 。	例 18 A: Boleh pinjem? B: Boleh.
8. 不満・批判・非 難・皮肉 (特殊な用 法: 「疑問詞+よ」)	対応する助詞がない。	例 19 (映画を見ている) A: (大声で笑う) B: 何が面白いの <u>よ</u> 。	例 20 (Sedang nonton film) A: (Ketawa dengan suara keras) B: Apanya yang lucu.

3.2 インドネシア語の先行研究

この研究は、日本語の漫画 4 さつと、それがインドネシア語に翻訳され、インドネシアで出版されている漫画をデータとして、「よ」と「ね」について分析している。この研究では、次の 2 点が明らかにされている。

1. 日本語の終助詞「よ」に対応するインドネシア語の終助詞は、少なくとも 9 個あり、そのうち 4 個は「ね」にも対応する。

2. 日本語の終助詞「よ」の8割以上が、インドネシア語では訳出されていないである。

アルタディ・長南（2015）の研究によると、インドネシア語の終助詞はたくさんあるが、日本語の終助詞「よ」はインドネシア語に訳していないことが非常に多いということがわかった。また、日本語の終助詞「よ」に対応するインドネシア語の終助詞の機能を参考にした。

4. 調査の方法

4.1 対象者

学習環境の違いをみるため、留学経験がある人と留学経験がない人を調査した。半年以上の留学経験があるインドネシア人日本語学習者（留学あり）を7人、インドネシア教育大学日本語学科で中級後半の学習者（留学なし）を7人である。JLPTはこのようになっている。

- 半年以上の留学経験があるインドネシア人日本語学習者（留学あり）、7人、3名（JLPT N2）、4名（JLPT N3）
- インドネシア教育大学日本語学科で中級後半の学習者（留学なし）、7人、3名（JLPT N3）、2名（JLPT N4）、1名（JLPT N5）、1名（持っていない）

4.2 調査内容

8 この終助詞「よ」の用法において、話し手と聞き手の関係や母語による影響を考えて、調査文を作った。1, 2, 4, 7 の用法は、質問文を4問ずつ作りまし。「よ」がある自然な文、「よ」がある不自然な文、「よ」がない自然な文、「よ」がない不自然な文である。「よ」がなくてもよいという用法の3, 5, 6, 8 は、質問文を3問ずつ作った。「よ」がある自然な文、「よ」がある不自然な文、「よ」がない自然な文1問。全部で28問になる。

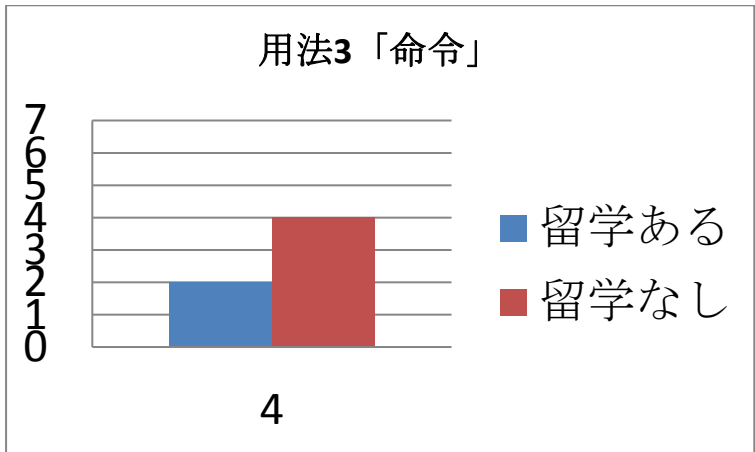
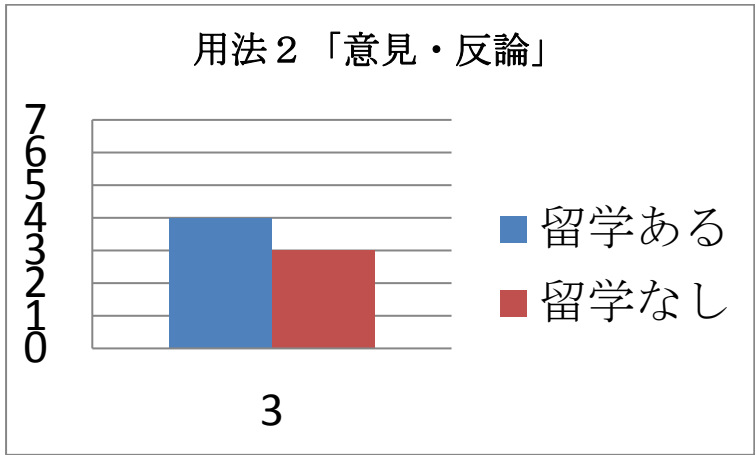
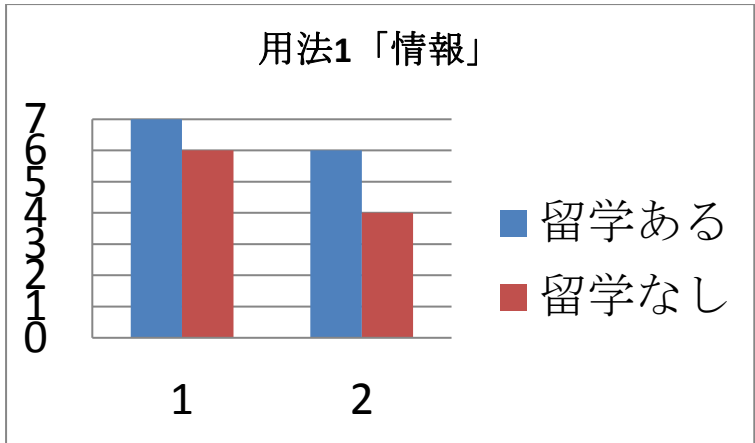
調査文は、くわしい状況を日本語とインドネシア語で説明する。その状況において、「よ」に関連する日本語文が「自然」か「不自然」かを選んでもらう。その答えに自信があるか、ないか、「確信度」を 5 段階で書いてもらう。「1」は「自信がない」、「2」は「あまり自信がない」、「3」は「どちらとも言えない」、「4」は「少しだが自信がある」、「5」は「自信がある」である。答えの背景をくわしくみるため、インドネシア語でも日本語でもいいので、「理由」を書いてもらう。

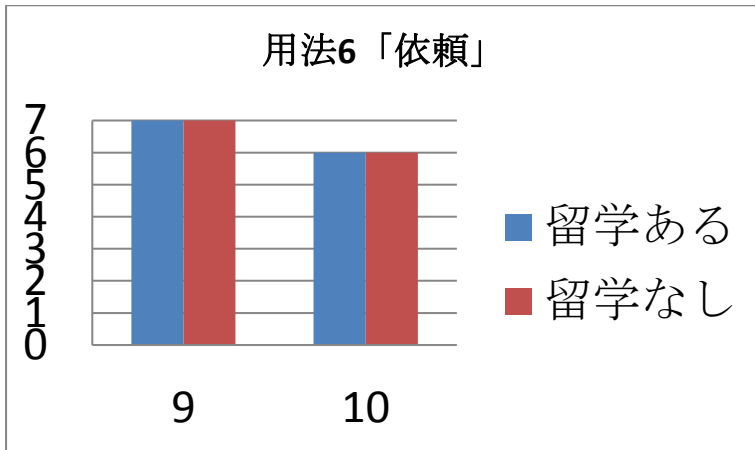
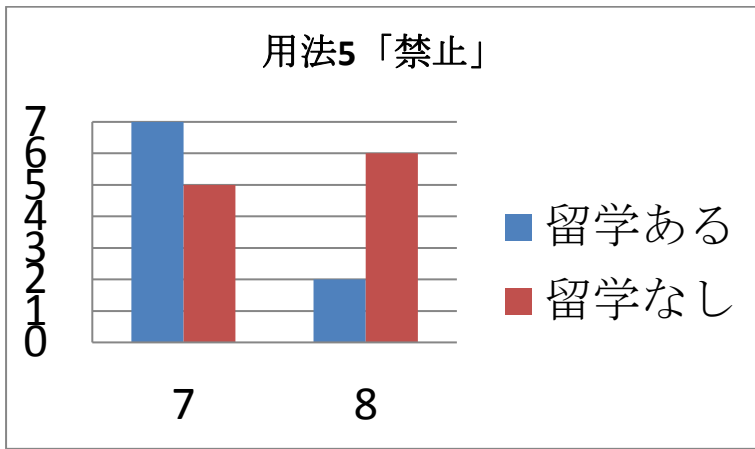
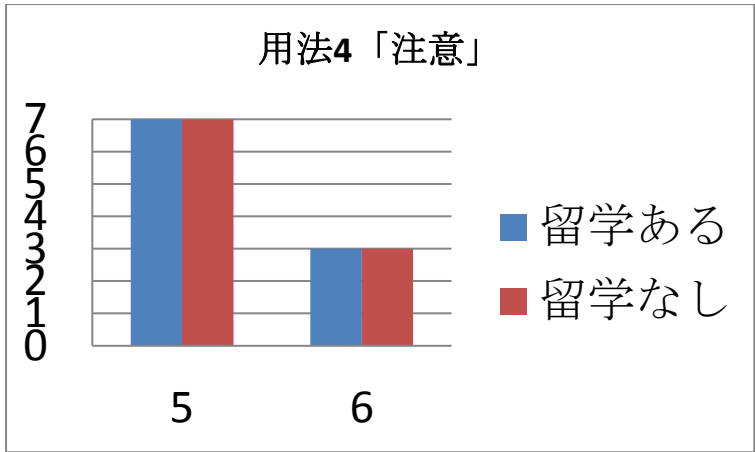
4.3 分析方法

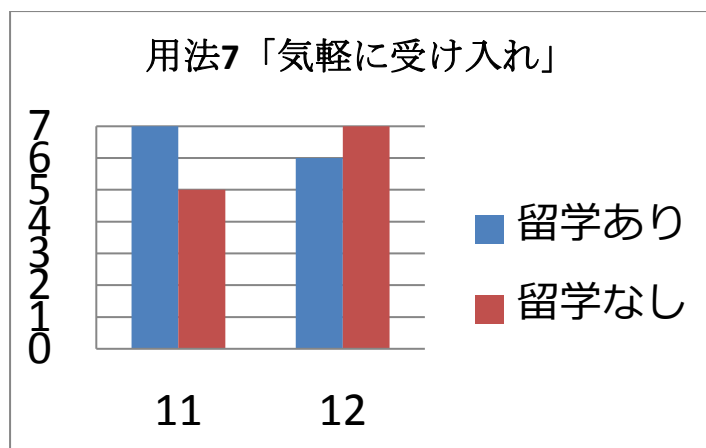
分析方法は、まず、日本語とインドネシア語における「よ」の用法を整理した。次に、インドネシア人日本語学習者における「よ」の理解調査を行う。調査は、会話場面の説明と、その場面における「よ」の使用に関する会話文からなっている。研究では、教科書分析を行う。この調査はインドネシア人日本語学習者における「よ」の理解調査の結果を分析するために、行った。これらのデータを、総合的に分析した。

5. 調査結果の分析

調査文として問題ないかを確認するため、日本人の 5 人に調査を行った。5 人中 5 人が同じ判断をしたものを、揺れのない調査文として使うことにした。日本人の回答を正答とした。日本人に確認した結果、調査文は、1-7 の用法にわたる 12 文になる。用法 8 については、今回の調査でみることができなかった。日本人の判断に揺れがあった調査文の検討は今後の課題になる。次に、1-7 の用法のグラフを示す。1-7 の用法にわたる 12 問題を示す。







5.1. 正答率が高い用法

本研究では、7人中6人以上ができた問題を正答率が高い用法とした。調査文12問中、正答率が高い用法は五つあった。問題1、問題5、問題9、問題10、問題12になる。

正答率が高い用法の中から一つ、用法7の「気軽に受け入れる」という用法の問題12について分析する。表2は、正答率が高い用法7の問題12を示す。

表2 正答率が高い用法7の問題12

	自然 (確信度)	不自然 (確信度)
留学あり	6 (4.5)	1 (5)
留学なし	7 (4.57)	0

他の4つの問題は、インドネシア語にも対応する「よ」があるが、この問題は、対応するインドネシア語の終助詞がない。しかし、正答率が高い。特に、留学なしは全員が正解で、確信度も高いである。

表 3 教科書における「よ」の用法

	用法 1	用法 2	用法 3	用法 4	用法 5	用法 6	用法 7	用法 8
初級文法	7	1					6 「いいよ」 5	
中級文法	44	19	1	4	3	2	20 「いいよ」 4	

インドネシアの大学で使った教科書に、用法の「いいよ」という表現が複数、ある。表 3 は、インドネシアの教育大学で使っている文法の教科書に出てきた「よ」を整理したものである。

インドネシア語にはない用法だが、ほとんどの人が正解できたのは、教科書の影響があると考えらる。

5.2 正答率が低い用法

正答率が低かった 3 つの質問について分析する。問題の 2, 6 番も正答率が低い、これは、理由も見たが、なにが問題になっているかはっきりわからなく、まだ分析できていないので、今後の課題になる。

1) 問題 3

表 4 正答率が低い用法 2 の問題 3

	自然 (確信度)	不自然 (確信度)
留学あり	4 (4)	3 (2)
留学なし	3 (3.33)	4 (3.25)

表 4 は、対応するインドネシア語の終助詞がある。教科書にもある。しかし、留学ありもなしもあまりできていない。確信度もあまり高くない。

間違っただ人の理由に特徴があった。理由をみると、留学ありの 3 人は、「先生」に対して「よ」を使うのは失礼という理由をあげている。これは、母語の影響だと考えられる。インドネシア語では先生に対して終助詞をあまり使わない。

一方、留学なしの 1 人は、「フォーマルな場面なので、「よ」を使わない」という理由をあげた。他の 3 人は、「なんとなく」「自信がない」「最後の文に「よ」を使わない」と書いており、理由がわからなかったり、まちがった理由をあげている。留学なしの人は、特に判断基準がなく、不正解になっていることがわかる。留学ありとなしで、「よ」の判断の基準が違うことがわかった。

2) 問題 4

表 5 正答率が低い用法 3 の問題 4

	自然（確信度）	不自然（確信度）
留学あり	2 (3.5)	5 (3.6)
留学なし	4 (3.75)	3 (3)

表 5 は「命令を強める」の用法だが、命令を強めるという「よ」の用法に対応するインドネシア語の終助詞がない。インドネシア語で終助詞をつけると、弱くなり「命令」ではなく「お願い」というような意味になる。教科書にはあるが、初級にはなくて、中級に 1 例だけで、少ないということがわかる。

確信度も低い。特に、間違っただ人の理由を見ると、留学ありの 3 人は、命令ですから、「よ」を使わないという理由をあげている。他の 2 人は「「ておけよ」を聞いたことがない」「「よ」を使ったら、不自然と思う」と書いてあ

り、間違っただ理由をあげている。

留学なしでは、留学ありの 3 人と同じように、命令には「よ」を使わないと回答した人が一人いる。その他の 2 人は「「片づけておこう」のほうがいい」「なんとなく」と答えており、はっきりした理由がわかる。

この調査文から、留学ありの人が間違っただのは母語の影響かもしれないが、留学なしの人ができているので、全体として、母語の影響があるとは簡単に言えない。この調査文からは、留学ありと留学なしで、判断基準の違いがあることがわかった。

「留学あり」の正解の理由は命令 1 人、普通体 1 人で、「留学なし」正解の理由は情報 1 人、命令 1 人、強くなる 2 人を書いてある。

3) 問題 8

表 6 正答率が低い用法 5 の問題 8

	自然 (確信度)	不自然 (確信度)
留学あり	5 (4)	2 (4)
留学なし	1 (5)	6 (4.5)

この表 6 は、対応するインドネシア語の終助詞がある。教科書にもあるが、中級に 3 例だけであり、少ないということがわかる。

この問題の状況で、お客さんに対して「よ」を使うのは失礼である。インドネシア語でも終助詞を使ったら、失礼になる。母語から考えると、この問題は簡単はずだが、結果から見ると、簡単とはいえない。

確信度は 4 で前の二つの問題より高いだが、留学ありの人は多く間違っている。間違っただ理由を見ると、留学ありの 3 人は「強調するために使う」と答えており、「強調する」という点がポイントになっている。他の 2 人は「尊大に聞こえないため」「わからない」と書いてある。

留学なしの 1 人は「ウェイトレスは情報を与えますから」という理由である。留学なしで、正答した人の理由は「お客様に対して丁寧にしなければならない」とか「敬語に「よ」をあまり用いない」というものである。留学しない人の理由から見ると、インドネシア語の知識を利用して、判断している

ことが見られ、インドネシア語の影響が考えられる。

留学ありの人には、インドネシア語の影響がみられない。留学ありの人は母語からではなく、「強調する」という別の基準で判断していることがわかる。

6. まとめと今後の課題

6.1 まとめ

わかったことをまとめると、まず、終助詞「よ」の理解において、母語からの影響が認められる用法があった。次に、母語の影響は考えられないが、教科書の影響が見られる用法があった。母語から考えると難しい問題でも、教科書でよく取り上げる表現だったため、正答率が高くなっていた。はっきりとした母語や教科書の影響はみられなかったが、理由を分析すると、「留学あり」と「留学なし」で、判断基準の違いがあることがわかった。

6.2 今後の課題

調査文の2番と6番の問題を、詳しく分析する。8の用法は、今回調査できなかったもので、もう一度、調査を試みる。

アンケート

群馬大学の日本語・交換留学生ウィケ・ナディヤ・スチ・アリストティと申します。インドネシア人日本語学習者の終助詞「よ」の使用・理解状況について研究しております。以下の調査にご協力をお願いいたします。個人情報、研究以外では使用しませんので、()に数字あるいは「O」でお答えください。

- 日本語学習歴 ()年 ()か月
- 日本留学経験 あり () → 留学年数 ()年 ()か月
なし ()
- JLPT あり () → N (1, 2, 3, 4, 5) 合格
なし ()

Saya Wieke Nadya Suci Ariesty mahasiswi pertukaran pelajar Bahasa Jepang di Universitas Gunma. Saya sedang melakukan penelitian tentang pemahaman situasi yang menggunakan kata akhiran Yo 「よ」 pada orang Indonesia sebagai pembelajar Bahasa Jepang. Mohon bantuannya untuk mengisi penelitian dibawah ini. Isilah data pribadi dengan angka atau 「O」 pada tanda (). Data pribadi tidak akan digunakan selain dalam penelitian ini.

- Riwayat belajar Bahasa Jepang ()tahun ()bulan
- Pengalaman belajar di Jepang Ada () → lama belajar ()tahun ()bulan
Tidak ada ()
- JLPT Ada () → N (1, 2, 3, 4, 5) lulus
Tidak ada ()

【回答方法】

以下の調査は、会話場面の説明と、その場面における「よ」の使用に関する会話文からなっています。会話場面をよく読んで、(1) - (3)について回答をお願いいたします。インターネットや参考書は使わずに、自分で考えてください。

- (1) 括弧 { } の文における「よ」の有無は自然か、不自然かを判断してください。()に「O」でお答えください。
- (2) (1) の回答（「自然／不自然」）について、確信度を選んでください。「1」は「自信がない」、「2」は「あまり自信がない」、「3」は「どちらとも言えない」、「4」は「少しだが自信がある」、「5」は「自信がある」です。最も近いレベルの数字に「O」をしてください。
- (3) (1) の回答（「自然／不自然」）を選んだ「理由」を書いてください。インドネシア語でも大丈夫です。

【Cara menjawab】

Disetiap pertanyaan dibawah ini, terdapat penjelasan situasi percakapan, dan dari situasi itu menghasilkan suatu percakapan yang berhubungan dengan pemakaian Yo 「よ」. Baca dengan seksama penjelasan situasinya, lalu isilah jawaban (1) - (3) . Jawablah tanpa menggunakan bantuan internet atau referensi lain.

- (1) Didalam kalimat bertanda kurung {...} ada kalimat yang menggunakan kata akhiran Yo 「よ」 dan ada yang tidak. Pilihlah alami atau tidak alami nya keberadaan Yo 「よ」 tersebut. Jawablah dengan 「O」 pada tanda () yang anda pilih.
- (2) Selanjutnya pilih seberapa besar kepercayaan diri anda tentang jawaban (1) (alami/tidak alami) tersebut. Pilihannya adalah, 1 tidak percaya diri, 2 kurang percaya diri, 3 ragu-ragu, 4 sedikit percaya diri, 5 percaya diri. Berilah tanda lingkaran 「○」 pada angka yang mendekati dengan level kepercayaan diri.
- (3) Tulis alasan anda memilih alami/tidak alami pada jawaban (1) . Menggunakan Bahasa Indonesia pun boleh.

質問

- (1) 店員 A は、ここ 2 年間、閉店後の店の戸締りを任されている。A はとても真面目で、これまで戸締りを忘れたことがない。店長は毎日、戸締りをするように A に声を掛け確認をしている。今日もいつものように、A に声を掛けた。

Penjaga toko A dua tahun terakhir ini dipercaya untuk mengunci toko setelah toko tutup. A sangat disiplin, sampai saat ini tidak pernah lupa untuk mengunci pintu. Setiap hari bosnya mengingatkan kepada A untuk mengunci pintu. Hari ini pun seperti biasa bosnya mengatakan kepada A.

店長：A さん、{いつものように戸締りをお願いしますよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (2) 妹は夜遅くまでずっとゲームをしていて、目が悪くなってしまった。兄はずっとゲームをするのは目に良くないと思ったので、妹に強く注意した。

Adik terus bermain game sampai larut malam sehingga membuat matanya rusak. Karena Kakaknya berfikir itu tidak baik untuk mata, Kakaknya memperingati Adik dengan keras.

兄：{ずっとゲームをするのは、目に良くない。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (3) お母さんは娘の A に果物を買ってくるよう頼んだ。

Ibu meminta tolong kepada anaknya untuk membelikan buah-buahan.

お母さん：A ちゃん、果物を買ってきてもらっていい？

A：{いいよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (4) 先生と学生たちはバスを待っている。学生たちはおしゃべりに夢中で、バスが来たことに気がつかなかった。そこで、先生が言った。

Guru dan murid sedang menunggu bis. Para murid serius mengobrol sehingga tidak menyadari bis datang. Lalu sensei mengatakan.

A : {バスが来ましたよ。}

自然 ()

不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (5) A と友達 B は、C という歌手が大好きだ。A は C のコンサートの情報を聞いたので、コンサートの情報を知らない B に言った。

A dan temannya B sangat menyukai penyanyi C. Karena A mendengar informasi tentang konser C, ia memberitahukannya kepada B yang tidak tahu tentang informasi tersebut.

A : {B ちゃん、来月、C のコンサートがある。} 一緒に行かない？

自然 ()

不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (6) A はレストランに傘を忘れた。店に戻って、店員のところに行った。店員がどんな傘が質問したので、A が答えた。

A meninggalkan payungnya di restoran, lalu ia kembali pergi menemui pelayan toko. Pelayan bertanya payung yang seperti apa lalu A menjawab.

店員：どんな傘ですか。

A : {折りたたみ傘で、色は淡いピンクです。}

自然 ()

不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (7) 明日、A 高校の野球部と練習試合がある。練習試合は、B 高校でやることになっている。A 高校の野球部が来るので、B 高校の野球部の部員（先輩）が、後輩に強く命令した。

Besok, tim baseball sekolah A ada latihan pertandingan. Latihan pertandingan diadakan di sekolah B. Karena tim baseball A akan datang, kakak tingkat tim baseball B memerintahkan adik tingkatnya dengan keras.

先輩：明日の朝までに、{必ず部室をかたづけておけよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (8) A は奨学金をもらうため、作文を書いた。先生に作文をチェックしてもらいたかったので、A が言った。

A sedang menulis karangan untuk mendapatkan beasiswa. Karena ingin meminta guru untuk mengecek karangannya, A mengatakan.

A：{作文のチェックをお願いしますよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (9) A は茶道の体験教室に行った。茶道の先生は、A のためにお茶を立ててくれて、A はそれを飲み終わった。

A pergi ke kelas minum teh. Gurunya membuatkan teh hijau untuk A. Setelah meminumnya A mengatakan.

先生：お茶はどうですか。

A: お茶を飲むのが初めてなので、{ちょっと苦いです。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (10) 授業を終えるとき、先生が生徒に言った。

Saat pelajaran selesai, guru mengatakan kepada murid.

先生：{では、授業を終わります。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

- (11) 大学の掲示板に、許可されていないチラシを貼っている学生がいた。大学の事務員が言った。

Di papan pengumuman kampus, ada siswa yang menaruh brosur yang tidak diijinkan. Lalu pegawai kampus mengatakan.

事務員 : {許可のないチラシは、貼ってはいけませんよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

- (12) 読書感想文を書く授業で、何も書かずにぼーっとしている学生がいたので、先生が近づいて行って小声で命令をした。

Didalam kelas menulis laporan buku, ada siswa yang hanya diam tanpa menulis apa-apa, lalu Guru mendekatinya dan memerintahkannya dengan suara pelan.

先生 : {何でもいいから、感じたことを書きなさい。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

- (13) A と B はペアで発表の準備をしている。A が発表原稿を作るので、B にパワーポイントを作るように頼んだ。B は「任せてください」と返事した。A はもう一度 B に念を押した。

A dan B sedang melakukan persiapan presentasi kelompok. A membuat naskah presentasi dan meminta B untuk membuat power point. B menjawab “serahkan padaku”. Lalu A mengingatkan sekali lagi pada B.

A : ありがとう。 {じゃ、頼むよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (14) A と B は同僚で、大学時代の部活も一緒である。A は部活の OB 会が今週の土曜日にあると思ったので、B に確認した。しかし、OB 会は来週の土曜日に延期されていたので、B は A に伝えた。

A dan B adalah rekan, kegiatan ekstrakurikuler di kuliah pun sama. A mengira bahwa acara pertemuan OB adalah pada hari sabtu minggu ini, lalu memastikannya kepada B. Tetapi, pertemuan OB ditunda menjadi hari sabtu minggu depan, dan B menyampaikannya kepada A.

A : B さん、OB 会は今週の土曜日でしたっけ？

B : いいえ、{来週の土曜日に延期されましたよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (15) 中本先生は学生 A に、ある映画を薦めた。A は映画を見て、自分の感想を言った。Pak Nakamoto merekomendasikan film kepada A. A menonton filmnya lalu mengatakan tentang kesannya.

A : 私の個人的な意見ですが、{この映画は、ハッピーエンドのほうがよかったですと思いますよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (16) A が同僚の B にコピーの方法を教えてほしいと頼んだ。B は快く同意した。

A meminta tolong kepada rekannya B untuk memberi tahu cara memfotokopi. Dan B menyetujui.

A : B さんコピーの方法を教えてくださいませんか。

B : {はい、いいです。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (17) A は兄と一緒に、遊園地に行った。兄は A に危ないやつには乗らないように言った。A は怒って言った。

A dan Kakak pergi bersama ke taman hiburan. Kakak mengatakan kepada A untuk tidak naik wahana berbahaya. A menjawab dengan marah.

兄：まだ子どもなんだから、危ないやつには乗らないように。

A：何？ {もう大丈夫だよ！}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (18) 先生は A に、ファイルを事務室に届けるように頼んだ。

Guru meminta tolong kepada A untuk memberikan file ke ruang administrasi.

先生：A 君、悪いんだけど、このファイルを事務室に届けてもらえませんか。

A：{はい、わかりました。} すぐに届けてきます。

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (19) A はテレビを見ながら、ご飯を食べていた。父親が強い口で命令した。

A sedang makan sambil menonton TV. Lalu ayahnya menyuruh dengan keras.

父：テレビを消して、{ちゃんとご飯を食べろよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (20) 女子大生 A はサークルの飲み会に行く。お父さんが A に注意した。

Mahasiswi A akan pergi ke pesta yang diadakan klub kampusnya. Ayahnya mengingatkan.

父：{外泊はするな。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (21) Aは指導教員と楽しく雑談している。Aは、教員の話が信じられなくて言った。

A dan Guru pembimbingnya sedang asik mengobrol. A tidak percaya yang dikatakan Gurunya, lalu mengatakan.

教員：仕事を始めたばかりのころ、朝寝坊で授業を休講にしたことがあったな。

A：えっ本当ですか。{そんなことを信じられませんよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (22) Aはプロジェクトの発表担当だった。参加者には外国人が多いことがわかり、英語で発表しなければならなくなった。Aは英語が苦手なので、英語が上手な同僚のBに発表を頼んだ。

A bertanggung jawab atas projek presentasinya. Mengetahui banyak orang asing yang datang, sehingga harus menggunakan Bahasa Inggris. Namun karena A tidak bisa Bahasa Inggris, A meminta tolong kepada B yang bisa berbahasa Inggris untuk presentasi.

A：申し訳ないんですが、{何とかお願いします。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (23) Aは後輩のBと学食で一緒に食べた。Bが次の授業に遅れそうだったので、AはBに優しく言った。

A dan adik tingkat B makan bersama di kantin sekolah. Karena B sepertinya akan terlambat ke pelajaran selanjutnya, A mengatakan dengan ramah kepada B.

A：{先に行ってもいいです。} 食器は下げておくから。

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由：

- (24) B はレンタルショップから最新映画の DVD を借りた。B はその映画をまだ見ていなかったが、A の願いを受け入れた。

B meminjam DVD film terbaru akhir-akhir ini dari rental film. B belum menonton film itu tapi, ia menerima permintaan A.

A : この DVD、ちょっと見せてもらっても大丈夫？

B : {ええ、わかりましたよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

- (25) A は先輩に借りていたボールを返すとき、言った。

Saat mengembalikan bola yang dipinjam dari kakak tingkatnya, A mengatakan.

A : {これ、借りていたボールですよ。} ありがとうございます。

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

- (26) A は奨学金をもらって留学できることになったが、母親にそのことを話さなかった。1週間後、母親はそのことを知って、A に聞いた。

A mendapatkan beasiswa keluar negeri tapi, ia tidak bilang kepada ibunya. Satu minggu kemudian, ibunya mengetahui hal tersebut dan menanyakannya kepada A.

母 : {なんでお母さんに言わなかったの。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

- (27) ペットと一緒に泊まれるホテルだが、レストランはペット禁止であった。レストランのウェイトレスが丁寧に注意した。

Di Hotel bisa menginap bersama hewan peliharaan namun, di Restoran tidak boleh. Pelayan Restoran memberitahu dengan sopan.

ウェイトレス : 申し訳ありませんが、{レストラン内はペット禁止でございますよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

(28) A は友達 B と一緒にレンタルショップに行った。A は映画に詳しくないので、B の意見を聞いた。

A dengan temannya B pergi ke rental film. Karena A jarang menonton film, ia meminta pendapatnya B.

A : {おもしろい映画は何だよ。}

自然 () 不自然 ()

1 — 2 — 3 — 4 — 5

(自信がない)

(自信がある)

理由 :

参考文献

- アリ アルタディ・長南一豪 (2015) 「日本語の終助詞に関する一考察—確認の「ね」と推論の「よ」—」『語学教育研究所創設 30 周年記念フォーラム : 語学教育フォーラム』1-22.
- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘 (2000) 『初級を教える人のための日本語文法ハントブック』スリーエーネットワーク.
- 上野田鶴子 (1972) 「終助詞とその周辺」『日本語教育』17号, 62-77. ソイス
ダー・ナラノーン (1998) 「日本語の終助詞「よ」・「ね」・「よね」について : 日本語教育の視点から」東京外国語大学院地域文化研究科博士学位論文.
- 花城可武 (2010) 「文法性判断テストを使った条件文の習得状況—正解率と確信度スケールを用いて—」『国際教育センター紀要』第 11 号, 51-68.
- 益岡隆志 (1991) 『モダリティの文法』くろしお出版.